

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表： 2019年 3 月 8 日

事業所名 福山医療学園あさひ子ども園 そら

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パテーションなどで区切り、学習、工作・自由活動とスペースを分けて使っている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			一日平均指導員5名を確保しており兼務職員もいるが配置数は適切である
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			専門学校の建物を使用しているので元々バリアフリーとなっている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々のコミュニケーションや定期的に職員全員参加の会議等で意見交換をしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後行う予定である
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			自主参加及び様々な研修会、学習会を利用している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の記録から、児童の変化をアセスメントし保護者と面談し個別支援計画に反映している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			広島県の発達障害特性シートを使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年間行事、月間行事を立案し職員ミーティングで確認している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員がそれぞれの活動を分担しローテーションを行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇はいろんなイベントを入れるなど変化をもたせている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一日の療育プログラムの中で個別活動と集団療育を組み合わせで立案している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			療育の前には時間を取って、その日の役割や内容についてミーティングを行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員全員が記録を書く場にて振り返りを行い情報交換を行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			児童一人一人の記録はファイルにして紙媒体で手書きで行っている

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月ごとにモニタリングを行いデイサービスの計画の見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		個別支援計画に添った支援をガイドラインを意識して行っている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	相談支援事業所の相談員との情報交換及びモニタリングは現在電話でのやりとりがほとんどである。児童発達管理者が対応している。児童指導員にも参画していけるようにする必要がある
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		児童の連絡帳やTEL、メール、口頭など母親や学校との情報収集に努めている。おたよりのコピー、学校HPの閲覧をこれからも続けていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療ケアの必要な児童については受け入れていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	同事業所子ども園そら児童発達支援からの情報は共有している。保育所、幼稚園、は保護者からの聞き取りに頼っているので、訪問やTELでの情報集に努めたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	必要が生じた時には情報提供していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	2か月に1回行われる、各事業所が集まり報告などを行う放課後等デイサービス連絡協議会に出席するなどして情報集している。継続して出席していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		地域の行事に参加し交流をしている
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		福山市の連絡協議会に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		帰りのお迎えは保護者に来ていただいているのでその際に顔を合わせて話をしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者会・学習会を年/2回開催している中で理解を深めていく必要がある。これから力を入れていく計画である
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明し署名・捺印をいただいている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		児童の連絡帳を通してのやりとりお迎えに来られた時に話又は個別面談等を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年/2回、保護者座談会を開催し保護者同士の連携を支援している

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情担当者を中心に保護者の声を聞くようにしている苦情があった場合、誠意を持って迅速に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月1回スマイル通信を発刊している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に係る同意書に署名・捺印をしていただき十分注意している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			話すだけでなく文章にするなど工夫をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	季節に合わせた行事を企画し、契約児童や保護者以外にも参加していただく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員に対しては行っているが保護者への周知はできていない運営利用規定に盛り込む必要がある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年/1回行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年間職員研修の中に計画し周知している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束を行う児童については保護者に説明了解していく必要がある。現在該当児童はいない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者申請のもと、十分注意している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成し内容を共有する中で再発防止に努めている